

2007年2月16日

各位

株式会社アドバンスクリエイト
(銘柄コード：8798)

2007年1月度 当社の業績概要について

1. 1月度 月次報告（速報）

アドバンスクリエイトグループの1月度の実績状況をご報告させていただきます。

ショップ及びWEB通販は、新規契約申込件数、新規契約申込ANPともに、前月比、前年同月比増加しており、順調に推移しております。

一方、対面(法人他)、アナログ通販は、新規契約申込件数、新規契約申込ANPともに、前月比、前年同月比減少しており、これにより、全体の新規契約申込件数、新規契約申込ANPが減少する結果となりました。

通販部門につきましては、アナログからWEBへの転換を進めており、既に約60のWEBサイトを運営するなか、WEBサイトからの資料請求も加速度的に増加してきております。また、WEBサイトで資料請求されたお客様がショップに来店されるなどの、シナジー効果も拡大しております。アナログ通販部門では、対象マーケットを絞り込んだチラシ配布を行うなど、効率性を高めた推進を行っております。

法人部門につきましては、従来の「法人保険市場」、「経営者保険市場」に加え「コストダウン保険市場(<http://hojin.hokende.com/costdown/index.html>)」を立ち上げ(2月13日)、企業の様々なニーズにお応えできるWEBサイトの構築を図っております。

また、一般企業の3月決算を目前に控え、現在、「法人保険市場」からの問い合わせも増加しており、加えて提携先との連携強化により、新規案件の開拓及び既取引先の案件継続に鋭意取り組んでおります。

これらの取り組みにより、業績の増強を図ってまいります。

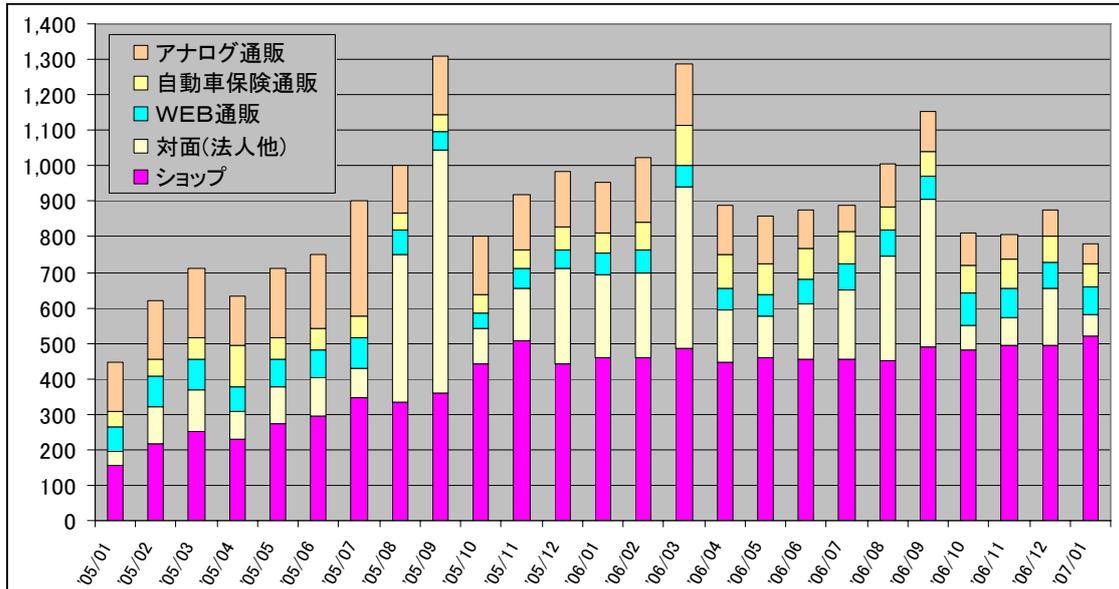
	新規契約申込件数		新規契約申込ANP	
	前月比	前年同月比	前月比	前年同月比
アナログ通販	▲25%	▲59%	▲21%	▲60%
自動車保険通販	▲10%	8%	▲13%	11%
WEB通販	3%	66%	9%	35%
対面(法人他)	▲10%	▲39%	▲62%	▲74%
ショップ	9%	16%	5%	13%
合計	2%	16%	▲11%	▲18%

※詳細は当社ホームページの月次動向ファイル(PDF)をご参照願います。

語句説明…ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPは60,000円となります。

●新規契約申込 ANP 推移（月次動向より一部抜粋）

（単位：百万円）



2. 最近のトピックス

①第三者割当増資の実施

あいおい損害保険株式会社を割当先として、普通株式 8,000 株の第三者割当増資を実施し、2月1日に払込みが完了しました。

今回の増資の目的は、あいおい損害保険株式会社との資本及び業務提携関係を強化し、新損保会社の設立・運営等において、更なる連携を図るとともに、自己資本の充実による財務体質の強化を図ることを目的としております。

②ショッピング検索サイト「BECOME JAPAN」とのコンテンツアライアンス開始について(平成19年2月1日公表)

当社において、既に数々のサイト（約60程度）を運営し、数多くの資料請求者や問合せをいただいておりますが、更なる業容拡大に向けて、有力なポータルサイトや検索サイトとのアライアンスを検討しておりました。

一方、ビカム株式会社においてもショッピング検索サイト「BECOME JAPAN」のサービスの一環としてライフスタイルに関わる各種サービスを比較検討できるコンテンツの提供に向けて、「保険」「自動車保険」等に関するコンテンツアライアンス先を探しておりました。

今般、インターネットプロモーションのさらなる拡大を図りたいとする当社のニーズと、ライフスタイルに関して各種サービスを比較検討できるコンテンツを提供して顧客サービスの向上を図りたいというビカム株式会社とのニーズが合致したため、業務提携を締結いたしました。

③平成19年9月期第1四半期手数料の内訳について

平成19年9月期第1四半期の業績につきまして、2月14日に開示しておりますが、当社単体の営業収益の内訳(初年度手数料、次年度以降手数料)は、下記のとおりでありますので、お知らせいたします。

(単位：百万円)

	06/9月期 第1四半期	構成比	07/9月期 第1四半期	構成比	増減	前年 同期比
営業収益	1,025	100%	2,178	100%	1,153	212%
内、初年度手数料	862	84%	1,970	90%	1,108	229%
内、次年度以降手数料	155	15%	208	10%	53	134%

3. 出店状況

(41都道府県)

2月新規 出店予定	累計 店舗数	北海道 東北	関東 甲信越	中部	近畿	中四国	九州 沖縄
2	176	23	39	20	46	23	25

「質への転換を図る」というのが今期の当社のテーマであり、各施設や店舗の集客状況や生産性等を検討した結果、2月度は14店舗の閉店といたします。また、4支店を統廃合することとなりました。引き続き、店舗のスクラップ&ビルドを積極的に展開して、社員教育・研修の強化やサービスクオリティの向上に努めてまいります。

以上